

平成 29 年度 東京都立竹台高等学校 学校経営計画

東京都立竹台高等学校長
八百板 真弓

<p>目指す学校像</p>	<p>本校の校訓 「共に学び、共に進む」 本校の教育目標 ① 人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。 ② 人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。 ③ 確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。 ④ 特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。 ⑤ 生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。 教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。</p>			
<p>中期的目標と方策</p>	<p>普通科中堅校として、多様な生徒の学力向上及び進路実現に向けて、進学指導体制の改善を図り、生徒の学力に応じた指導体制を強化する。また、外部人材を活用した「チューター制度」を導入し、生徒の自主学習を教員とともにサポートする体制を構築していく。生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼される、地域に貢献する人間を育成する。 なお、効率的な職務遂行、めり張りを付けた働き方等により、ライフ・ワーク・バランスを一層推進する。</p>			
<p>各組織</p>	<p>今年度の取組目標と方策</p>	<p>今年度の重点目標</p>	<p>関連する数値目標 (28 年度実績)</p>	
<p>学校全体</p>	<p>組織的学校経営の推進 PDCA サイクルに基づくマネジメントシステム 「チーム竹台」 学び続け、協働する教職員。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 戦略検討。 ・主幹会議 主幹教諭 4 名の連携・協力、学校改革牽引。 ・主幹教諭、主任教諭 14 名によるミドルマネジメント。 ・教職員の情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化 報告・連絡・相談の徹底、ネットワーク-share 共有フォルダの活用、資料、記録等の即時回覧。 ・電子起案の推進 分掌、学年、教科間の連携強化 	
	<p>系統的なキャリア教育の推進 進路指導部が方針を立て、主導し、学年・教科と連携・協力して取組を充実、強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有化 ・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 ・上級学校説明会等への積極的参加、情報収集・活用。 ・ガイダンス、個別相談の充実。 ・同窓会(さつき会)との連携、講演会等の充実。 ・「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目線合せの実施。 ・自習室の活用促進 ・第一志望の早期明確化 ・志望理由書、小論文・作文指導の強化。 ・フィードバック活用による個別指導 ・三者面談の充実 ・大学入試センター試験問題の分析、活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会との連携 キャリア講演会 1 回 キャリア講座 3 回 OBOG 課外授業 1 回開催 ・自立支援教育プログラムの活用 1 学年 NPO 法人 鴻鵠塾との連携、2 学年 NPO 法人 NEWERY との連携、各 1 回(28 年度 1、2 学年各 1 回)
	<p>人権尊重教育推進校としての取組 人権委員会を核として推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供、インターネットによる人権侵害等について、考えさせ、理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の関心を高め、身近な問題として人権課題について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校人権教育講演会 ・人権教育講座(学年別)の開催、感想を書かせる。
	<p>募集・広報活動の充実 総務部が方針を立て、主導し、全校連携・協力して取組を充実、強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色のより一層の明確化 ・入学者選抜(分割後期募集、在京外国人生徒募集を含む)の評価・検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。 ・家庭・地域等の本校に対する要望の把握及び対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校体制の確立 ・夏季休業日中の学校見学 平日毎日実施(日直対応)。 ・合同説明会等外部会場への一人 1 回以上参加。 ・中学校訪問一人 3 校、塾訪問一人 2 塾以上。 ・学校説明会、個別相談会の充実 ・中学校との連携強化 ・新入生対象入学アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 126 校、塾訪問数 84 塾以上(28 年度中学校 141 校) ・中進対 1.0 倍以上(28 年度 0.95) ●入学者選抜分割前期最終応募倍率 1.3(28 年度 1.26) ・入試対策講座 5 教科 2 回(28 年度体験授業 5 教科 1 回) ・文化祭来校者数 1300 名

			調査実施。本校に対するイメージの把握、次年度募集対策への活用。	以上(28年度 1274名) ・ホームページ更新 200回以上(28年度 160回)
	教育公務員としての高い使命感・倫理観、服務規律の遵守。	・ 服務規律の徹底 ・ 校内規定の整備 ・ 情報資産の管理の徹底	・ 個人情報の保護、管理の徹底 ・ クリーンデスクの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進	・ 服務事故防止研修 4回(28年度 4回) ・ 服務事故レポートの継続
	地域連携	・ 地域に開かれた学校づくり ・ 地域の公共機関との連携による生徒の健全育成	・ 都立学校開放事業実施 ・ 小・中学校等との連携。	
	教育環境の改善・充実 校舎改築及び創立 80 周年等の活用	・ 中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり	・ 体育館、武道場解体、グラウンドと併せて新校舎建設範囲とすることへの対策、準備	・ 新校舎建設実施設計及び体育館解体工事に係る住民説明会実施 8 月予定(28年度 11 月実施)
	計画的、組織的な人材育成	・ OJT、校内研修の充実 ・ 教員の授業力の向上 教員相互の授業参観の充実 ・ 明海大学との「教育連携に関する協定」締結校としての取組	・ 校内研修の充実 ・ AL の視点からの授業改善、ICT を活用した授業 ・ 授業公開週間(4 月)、授業公開(11 月)等の活用 ・ 明海大学の学生受入、大学の教育内容理解 ・ 紀要発行	・ 校内研修(講師招聘) 1 回実施 ・ 研究授業・研究協議 各教科 1 回(28 年度研究授業 37 回) ・ ○○大学入試問題研究及び生徒対象講習(28 年度講習 57 講座) ・ 授業見学 年間 4 時間以上、「この授業見よう」新規実施
教科	学力向上 体力向上 カリキュラム・マネジメント 指導と評価の PDCA サイクルにより、授業改善、ひいては学校改革を行う。	・ 学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導 ・ 教科会(月 2 回)の充実、教科主任会(月 1 回)定例開催、充実。 【自主学習時間の伸長】 ・ 土曜講習、土曜自習室の充実 ・ 読書活動の推進、言語活動の充実—書評合戦等 ・ ICT 機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・ 英語教育の改善・充実-JET、ALT の活用— ・ リンピック・パラリンピック教育の推進 5 つの資質の育成(全教科合計、年 35 単位時間) ・ 主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・ 体力・運動能力の向上 体力テスト(6 月)実施	・ 学力調査実施、結果分析、追指導による学力の確実な定着 ・ AL の研究と実践。 ・ 【授業のポイント】授業スキル(伝達、生徒の状況把握)、授業デザイン(学習目標の明確化、課題解決を通じたアウトプット)、学習成果(学力・技能の向上感)や負荷の感じ取り方。 ・ 学年との連携 週末課題、小テスト等実施。 生徒のタイム・マネジメント指導、支援(手帳の導入、活用に向けての検討)。 ・ 読書の全校的、継続的奨励 ・ スピーチ、ディベート等の奨励 ・ 世界ともだちプロジェクト(グループ 12)交流 ・ 体力テスト事前指導徹底 全学年前年度を上回る。	・ 学力調査得点 50%以上 ● 生徒による授業評価(肯定的評価)65% (28 年度 1 学年 51%、2 学年 63%、3 学年 48%) ・ 長期休業日中の講習延べ 300 時間以上、参加延 1100 名 (28 年度 53 講座参加延 1094 名) ・ 土曜講習各学年 17 回参加延 1000 名、土曜自習室 15 回参加延 80 名以上(28 年度土曜講習 2、3 学年各 17 回各延 357 名、土曜自習室 22 回延 66 名) ・ 本校図書館の貸出冊数 3300 冊以上 (28 年度 2172 冊) ・ 不読率 22.3%未満(27 年度 39.6%) ・ 資格取得 英検、漢検の準 2 級レベル以上合格 25 名以上 (28 年度英検 11 名、漢検 13 名) ・ 語彙・読解力検定、ニュース時事能力検定、数学検定等受検奨励 ・ 「アクティブプラン to2020」目標値達成
学年	在り方生き方を考えさせる	・ ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在	・ 1 学年モチベーションの充実(高校における学習内	・ 自習室開室 135 日以上 ・ 拡大学年会各学期 1 回

	基礎的・汎用的能力の育成 自己実現に向けての指導の充実	り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・週末課題(1、2学年) ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導(3学年)	容・学習方法、自主学習の重要性等の確認 ・朝学習、放課後講習。 ・自習室開設、活用促進。 ・残勉(定期考査前学校で学習) ・「人間と社会」の計画、実施(1学年)。	(3学年3学期なし)。
教務部	学習習慣の確立ー自主学習時間の伸長ー生徒一人一人の「確かな学力」の定着と伸長方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。	・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学習時間調査 ・生徒による授業評価の実施及び結果分析年2回 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善	・長期休業日中の組織的な補習、講習。	●自主学習時間1日1時間以上70% 自主学習時間調査年間5回実施新規
生活指導部	高い規範意識の維持 生活指導指針に基づく指導 方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。 安全教育の推進(生活安全、交通安全) 自治意識、帰属意識の向上 豊かな人間性の育成 心身の健康づくりの推進 いじめの総合対策に基づいた対応	・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、 <u>遅刻防止、服装・身だしなみ指導の徹底を図る。</u> ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 ・朝、昼休みの正門等における指導(授業時巡回)を全教員当番制で行う。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。 ・情報モラル教育の推進 ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興 ・部活動推進と体力向上 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化	・行動目標:5分前集合授業開始のチャイムとともに授業開始、「時間を守る」意識の向上。 ・化粧禁止に向けた検討 ・行動目標:挨拶励行、自転車走行時傘差し、イヤホン使用厳禁の徹底。 ・全教員の組織的な取組による部活動指導強化 部活動顧問による部員の学習、生活指導への積極的な関与。 ・部活動の活性化 ・部活動生徒等を核とした奉仕的活動の充実、地域との連携の深化。 ・1学年生徒部活動加入促進 ・校歌指導の強化 ・学校医等との連携強化 エレベーター使用の研修等 ・ゴミ分別の指導の徹底 ・スクールカウンセラー等との連携による相談しやすい学校づくり 1学年生徒全員面接	・遅刻者 7%以下 (28年度年間延13884回) ●学校評価アンケート(きまりを守ることや良識を育てるような教育)(地域の否定的評価) 20%未満 (28年度否定的評価20%、分からない17%) ・服装・身だしなみ指導の徹底(女子制服スカート丈改造等) ●1学年生徒部活動加入率70% (28年度11月63%) ・部活動定着率80%以上 ・体罰ゼロ
進路指導部	生徒一人一人に応じた適切な進路指導	・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・インターンシップの充実	・進学、就職希望者に対するきめ細かな指導 ・進路の手引きの充実 ・進路だより定期的発行 ・1学年進路希望、2、3学年第一志望の明確化 1学年末までに85%、2学年末までに90%、3学年1学期末までに95%。	●4年制大学進学率40% (28年度77名、37.9%) ●日東駒専以上現役合格10名(28年度9名) ・国公立大学1名合格 (28年度0名) ・就職内定率 100% (28年度100%) ・進路未決定者 10%未満

				<ul style="list-style-type: none"> ・進路変更の減少 ・大学一般受験の奨励、増加 ・理科系進学指導の充実 	(28年度 14.3%)
	総務部	<p>安全教育の推進(災害安全)</p> <p>社会貢献の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の推進「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 ・PTAとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した防災教育の推進 ・防災活動支援隊の活動の充実 ・「防災ハト」の活用 ・地域の資源、教育力を生かした奉仕の実施。 	
	経営企画室	<p>適正な予算執行と更なる経営参画</p> <p>教育環境の更なる整備、充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の安全な環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の「顔」としての役割、電話対応や接遇の改善、充実。 ・自律経営推進予算の適正な編成、執行。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備。一足制導入による課題解決。 	センター執行の増加、予算の有効活用。